

広報 HEART

心とこころを繋ぐ病院だより

一緒です

寄り添う気持ち

違っても

言語や習慣は



contents

- 02 こどもの食物アレルギーのコト
- 05 あつみの郷の紹介
- 06 おすすめレシピ
- 08 渥美病院を支える人たち

／ 知って備える ／

こどもの 食物アレルギーの コト

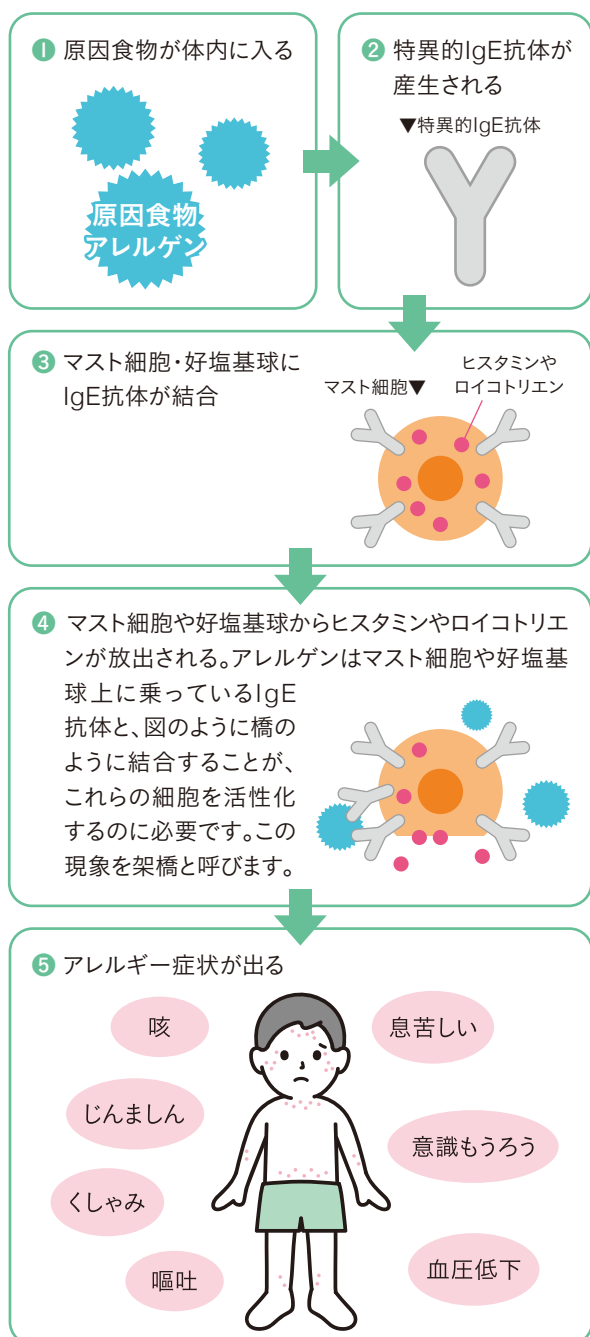
小児科の村田医師に、

こどもの食物アレルギーについて

お話を聞きました。

食物アレルギーとは

食物アレルギーとは、本来「敵」ではないはずの卵や牛乳などの食べ物を食べた際に、体の免疫が「敵」だと勘違いし過剰に反応して、じんましんや咳、嘔吐などの症状を起こしてしまうものです。



[小児科]
村田 浩章

はじめよう予防生活 /

皮膚をできるだけ
良い状態に保つ

荒れた皮ふから食べ物の成分が体に入り込まないように、毎日のスキンケアで「皮ふを出来るだけ良い状態に保つ」ことが重要です。お子さんのスキンケアの方法が知りたい方、湿疹でお困りの方も当科でご相談ください。

少しずつ
食べ進めておく

食べ物の成分自体は、体にとって「異物」ではありますが、腸から吸収されても通常はアレルギー反応は起きません。これは、食べ物を栄養として使えるように「攻撃しない仕組み」が体にあるからです。少しずつ食べ進めることで、そのような「アレルギーを抑える免疫」が育っていきと考えられています。



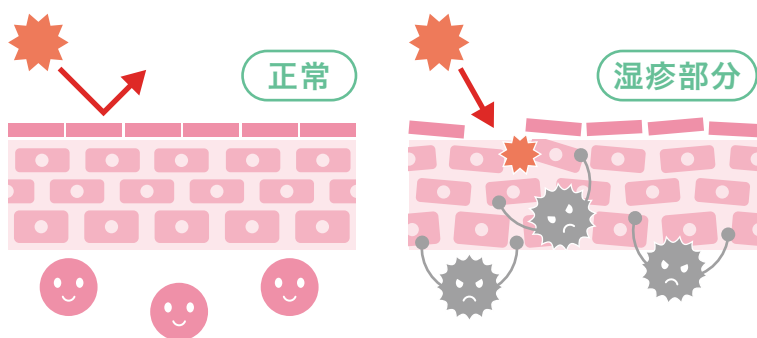
次のページでは村田医師へのインタビュー記事を掲載しています

食物アレルギーの成立

以前は「食べることで食物アレルギーが成立する」と考えられていましたが、現在では、食べることでではなく「荒れた皮ふから食べ物の成分が体に入り込むことで食物アレルギーが起こる」と考えられています。

それまでに食べたことが無くても、食物アレルギーになってしまっているのはそのためです。

皮ふから成立



食物アレルギーの診断と治療

現在の食物アレルギーの管理は、「正しい診断に基づいて、本当に必要な範囲だけ食べるのを制限すること」です。症状が出る食べ物や症状が出る量は避ける必要がありますが、食べられる範囲はむしろ食べておくことが重要です。食物アレルギーの診断は血液検査だけでは出来ません。問診・血液検査・皮ふテスト・食物経口負荷試験などを組み合わせ、総合的に診断します。「何を除けば良いか」「どのくらい食べて良いか」などを正しく判断するためには、医師の診察が必要です。食物アレルギーがご心配な場合には、当科でご相談ください。



Doctor's file

小児科

村田 浩章



困ったら渥美病院に行けば
安心できるという体制や
環境を作りたい

MURATA HIROAKI

平成11年 豊橋市民病院
平成16年 静岡済生会総合病院
平成20年 JA愛知厚生連渥美病院
専門は小児科

医師を目指したきっかけはなんですか？

何か大きなきっかけがあった訳ではありませんが、小さい頃に何となく人の役に立ちたいということで医師になることを目指しました。

小児科を選んだのはなぜですか？

小児科は総合診療科でもあり、例えば、500gの赤ちゃんから100kgの中学生まで診ることができ、子どもの診療の窓口として、まずは診療科に関係なく小児科を受診されることが多いことから、幅広く子どもを診られるということに魅力を感じたことと、子どもも好きだったことから小児科を選びました。

診療をするうえで心掛けていることはなんですか？

時間に追われて外来でしつかりお話出来ない場合もあり心苦しいですが、できるだけ解りやすく説明できるように心がけています。

今後、取り組みたい内容などありますか？

困ったら渥美病院に行けば何とかしてくれる・安心できるという体制や環境を作りたいと考えてはいるのですが、なかなか実現できていません。小児科医の不足による診療時間や受入人数が限られてしまっている現状を変えていければと考えています。

Private



また、新型コロナウイルスで中断していた講習会を再開したり、田原市などとも協力しながら今後新たに講演会なども出来ると良いかと思っています。
昔と比べて大きく変わった治療方法などありますか？

様々なワクチンを接種出来るようになったことで感染症自体や感染症の重症化が減り、入院数も全国的に減っております。鼻炎や喘息、アトピー性皮膚炎に関しても、薬剤の種類が増えたことにより改善する患者さんが増えてきています。

プライベートの趣味はありますか？

以前から滝などを見に行くことが好きだったので、最近は、さらに東海エリアの神社や仏閣、季節の花などを妻と一緒に見に行っています。

pick up!

外国人スタッフの紹介

あつみの郷では現在、4名の外国人スタッフが介護の現場で活躍しています。出身国や文化は異なりますが、利用者の皆さまに寄り添う姿勢は共通しており、日々のケアに温かさと新しい視点をもたらしてくれています。



マイケルさん(フィリピン出身)

Q:介護の仕事を始めたきっかけは?

日本が好きで、介護の仕事をしながら日本で働きたいと思い、日本語と介護の勉強を始めました。

Q:休日の過ごし方は?

家で寝てゆっくり過ごしています。最近山登りをしています。

ひとこと

外国人職員として難しい仕事もありますが頑張ります。よろしくお願いします。

ウェンさん(ベトナム出身)

Q:母国との違いで驚いたことは?

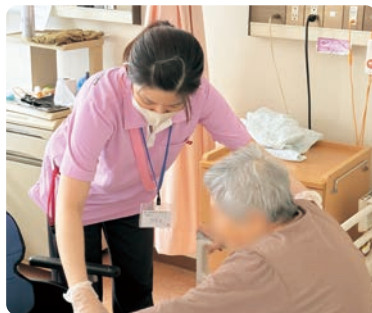
一番驚いたのは温泉の文化です。とても戸惑い恥ずかしかったです。

Q:これからの目標は?

入職して5か月が経ちましたが、まだ文化や技術について学ぶべきことが多いので、先輩方から吸収し成長できるよう頑張りたいです。

ひとこと

仕事も生活も笑顔でいたいです。



エデンさん
(フィリピン出身)

Q:利用者との印象的なエピソードは?

利用者さまに「ありがとう。あなたがいてくれて安心する」と言われたことが印象に残っています。試験前には「頑張ってるね」「あなたなら

きっと大丈夫だと思うよ」と笑顔で応援してくださいました。その笑顔に仕事のやりがいや喜びも感じました。

ひとこと

毎日が学びの連続ですが利用者さまの笑顔や「ありがとう」の言葉に元気をもらいながらやりがいを感じて働いています。これからも成長し続けてもっと役に立てるように頑張りたいです。



イーさん
(ベトナム出身)

Q:あつみの郷で働いて感じることは?

先輩たちが親切で、いろいろなことを教えてくれるおかげで新しいスキルや知識を学ぶことができ成長できると感じています。

Q:趣味は?

写真を撮ることです。みんなの笑顔やきれいな景色を撮っていい思い出を作ることが大好きです。

ひとこと

言葉が違ってても頑張れば何でもできるよ!!(^^)



1人あたりの栄養素
エネルギー…238kcal
たんぱく質 ……22.8g
脂質 …………… 5.9g
食塩相当量 …… 2.0g



Recommended Recipe

管理栄養士監修 おすすめレシピ

肉巻きキャベツ

〔材料〕2人前

豚ももスライス
(しゃぶしゃぶ用) …… 180g
キャベツ …… 250g (1/4)
片栗粉 …… 適量
こしょう …… 少量
サラダ油 …… 適量

A
醤油 …… 大さじ1と1/2
みりん …… 大さじ1と1/2
酒 …… 大さじ1
砂糖 …… 小さじ1
酢 …… 小さじ1
卸し生姜 …… 小さじ1/2
卸しニンニク …… 少々
ごま …… 少々

〔作り方〕

- 1 キャベツは芯を切り落として千切りにする。切ったキャベツを耐熱容器に入れ、ラップをふんわりかけて電子レンジ600wで2～3分加熱する。水気を切り、粗熱をとる。
- 2 Aの調味料をあわせておく。
- 3 豚肉をひろげ、こしょうをふる。キャベツの水気を切りながらきつめに巻いていく。巻いた豚肉に片栗粉を軽くまぶしておく。
- 4 フライパンにサラダ油を薄くしき、巻き終わりを下にしてならべる。ふたをして弱火で蒸し焼きにし、時々ひっくり返す。豚肉に火が通ったらAの調味料を加えて中火で加熱する。
- 5 お皿に盛り、ごまをふって完成。

血糖値をコントロールするために

食事は1日3回規則正しく食べましょう！

規則正しく食べることで、まとめ食いやどか食いを防ぐことができます。また、よく噛んで食べることで、満腹感が得られやすくなり、過食を防ぐことに繋がります。

野菜や海草類をしっかりとりましょう！

野菜や海草類、きのこなどに含まれる食物繊維には糖質やコレステロールの吸収を緩やかにしてくれる働きがあります。

ただし、いも類やかぼちゃ、れんこんは、炭水化物の量が多い食品なので、とり過ぎには注意しましょう。

お菓子は控えましょう！

菓子類は炭水化物や脂質が多く、エネルギーの高い食品です。血糖コントロールを乱すだけでなく、肥満や中性脂肪を上昇させる原因にもなるため注意しましょう。

臨床工学室 の紹介

渥美病院の取り組み

臨床工学技士は、医学と工学の知識を兼ね備え、医療機器の専門家として活躍しています。人工呼吸器や透析装置、麻酔器、電気メスなど、現代医療に欠かせない多くの医療機器を安全に使用するため、操作・点検・保守管理を行っています。当院の臨床工学室では、主に次のような業務を担当しています。

血液浄化療法

血液透析をはじめ、腹水濾過濃縮再静注法（CART）、顆粒球吸着療法など幅広い治療をサポートし、腎不全や難治性腹水、潰瘍性大腸炎、クローン病など多様な疾患の治療に携わっています。



▲透析機器の操作

高気圧酸素治療

突発性難聴などの治療に用いる高気圧酸素治療装置の操作を行っています。また、潜水病（減圧症）に対する再圧治療にも一部対応しています。



▲高気圧酸素治療装置

医療機器などの教育

医療機器の安全な操作や適切な管理方法について、他の医療スタッフに教育・研修を実施しています。

その他

在宅酸素（HOT）を始めとし、在宅医療機器の導入サポートなどに関わっています。

生命維持管理装置の操作・管理

心臓や呼吸の働きを助ける装置を、医師の指示のもと患者さんの状態に合わせて安全に操作・管理しています。また、ペースメーカー外来では、ペースメーカーが正常に作動しているかのチェックを行っています。

医療機器の保守管理

人工呼吸器、輸液ポンプ、除細動器などの医療機器を安全に使用できるよう、定期点検や修理を行っています。

臨床工学技士は、医師や看護師と連携しながら、患者さんを医療機器の面から支えることで、安全で質の高い医療を提供する大切な役割を担っています。

渥美病院を支える人たち

Pick up!



すずき けいし
鈴木 敬之

平成23年 JA愛知厚生連渥美病院



“

相談しやすい技士を目指し、
話しかけやすさと技術的信頼を
両立させていきたい。

”

member.

12

臨床工学技士

鈴木敬之

SUZUKI KEISHI

臨床工学技士を目指したきっかけを教えてください

高校生の頃は工業系エンジニアの父に憧れ、エンジニアを目指していました。高校3年生で進路を決める際に、看護師の母から「医療の道もいいのでは？」と臨床工学技士という仕事を勧められたことがきっかけです。もともと直接的に人と関わり、貢献できる医療・福祉系の仕事には興味がありました。実際に看護師として働く母の姿をみて育ったこともあり、とてもやりがいのある仕事だと感じていました。医療と機械の両方に関われる臨床工学技士という仕事に魅力を感じました。

臨床工学技士の魅力はどんなところにありますか？

高度な医療機器を扱うスペシャリストとして、患者さんの治療をサポートすることです。人工心肺装置や人工呼吸器、人工透析機などの生命維持に関わる医療機器も管理するため責任は大きいですが、その分やりがいのある仕事です。一方で、機械のメンテナンスを行う裏方の仕事に思われ

がちですが、実は患者さんと接する機会も多い仕事です。人工透析や高血圧酸素治療などの治療中に患者さんとお話をする事でこちらが元気をもらっています。

当院の良いところを教えてください

以前は別の病院で2年ほど働いていましたが、比較しても当院は他部署との距離感が近く風通しの良い職場だと感じます。スタッフ同士がすれ違うときに自然に挨拶を交わし、廊下などで気軽に仕事について相談することが出来ます。特に臨床工学技士は医療機器を通じて患者さんの命を支える存在であり、医師や看護師等と現場での迅速な連携が求められます。そういった中でもチーム力やチーム医療における雰囲気の良いところというのは当院の大きな魅力だと思います。

今後の目標を教えてください

「相談しやすい臨床工学技士」になることを目指しています。医療機器の使い方など、「こんなこと聞いていいのかな？」と思うようなことでも、気軽に相談してもらえる存在になりたいです。誰に対しても親切で丁寧に対応し、信頼される技士を目指します。また、今後も自己研鑽を怠らず「話しかけやすさ」と「技術的信頼」を両立させていきたいです。

地域の皆様に一言お願いします

田原に来て14年になりますが、本当に親切で温かい方ばかりです。これまで支えてくださった地域の方々に、臨床工学技士として少しでも恩返しができるよう、

my favorite

ブルーベルカフェ

家族でモーニングを食べに行くことが多く、ボリュームのあるサンドイッチが美味しいです。



これからも努力を続けていきたいと思えます。今紹介した突発性難聴における高血圧酸素治療は、早期に始めると効果が高いといわれております。お困りの際は是非、当院へご相談ください。

休日どのように過ごされていますか？

家族で出かけることが多いです。家でじっとしているのが苦手なので、子どもと一緒に大きな公園や動物園、遊園地などへ出かけます。外にいる時間が長いので、職場で「また日焼けしましたね」とよく言われます(笑)。



「モニター会議を開催しました」

当院では、地域からのご意見・ご要望を伺い改善につなげる事と病院からの情報発信を目的とした「モニター会議」を年2回開催しています。毎年、田原市内20校区の代表の方に参加いただき、講演会や意見交換会を行っており、平成18年から開催して今年で20年目になります。

7月12日(土)に開催した今年度第1回目のモニター会議では、「渥美病院の歴史・現況～創立90周年を迎えて～」と題した病院長講演に続き、渥美半島唯一のお産ができる病院として、産科の現状についてお話ししました。医師、助産師といったスタッフや設備の充実に加え、地元レストランと提携したオリジナルコースの「お祝い膳」、産後の休息時間確保と合わせて育児指導を受けることのできる「産後ケア入院」といったサービスについてご紹介させていただきました。

その後は意見交換会を行い、実際に当院を利用された感想や運営上の課題に至るまで幅広い意見や質問が寄せられ、とても有意義な時間となりました。以下一部をご紹介させていただきます。

Q. 地域災害拠点病院を目指しているとのことだが、具体的にどのようなものか。

A. 災害時に地域医療の中心となる病院で、孤立しやすい地理的特性からその役割を担う必要があると考えています。具体的な準備として、災害派遣医療チーム(DMAT)の体制整備、ヘリポートの準備、医薬品や食料などの備蓄、自家発電設備の確保などを進めています。被災地派遣だけでなく、被災時に医療を提供し続けることが最大の目的です。



Q. 人材確保はどのように働き掛けているか。

A. 医師は、主には大学医局を訪問して働きかけており、常勤医の確保に努めております。最近では田原市の奨学金の効果で、7・8年目の医師が増えてきました。現在、研修医も6名在籍しています。看護師は厚生連の看護専門学校や近隣の養成校からの確保を進めており、就職フェア等にも参加して広く働きかけを行っています。

映像で素早く伝える119番通報 (Live119)

「はい。119番です。火災ですか？
救急車ですか？」

119番をダイヤルすると、消防の通信指令センターに繋がります。消防指令員が対応します。この時、傷病者を目の前にして通報者は、消防指令員から「意識はありますか」と質問を受けることがあります。このほかにも、「正常な呼吸をしていますか。」「どんな症状ですか。」「どのように言葉では答えることが難しいような質問でも大切な情報として聞かれることもあります。」

「Live119」は、通常の119番通報にスマートフォンで撮影した映像を加えることで、より正確な情報をリアルタイムに伝えることができるシステムです。それだけでなく、応急手当の映像を通報者のスマートフォンに送信することができます。送られてきた映像を見ながら指導をうけることができ、傷病者に対して有効な応急手当を実施することができします。

119番通報の際、このシステムを活用するために消防指令員が映像伝送のご協力をお願いすることがあります。



このLive119の利用には、通報者の安全が確保されていることを前提としています。例えば、火災で通報者自身が危険な場所にいる場合や、交通量の多い道路での事故車両付近では利用しません。通報者が安全な環境にいないことが確認できれば、指令員が操作方法の説明をします。119番通報をつないだまま説明に従って操作をしてください。

操作手順

通常の119番通報から（アプリのダウンロードは不要です。）

1 消防からのSMS（ショートメッセージ）が届いたら本文のURLをタップしアクセスします。

2 画面の案内に従って操作し、撮影のための準備を行います。

3 画面中央の赤色ボタンをタップし撮影をスタートします。

こんなことにも

田原市は特定が難しい場所も多く、Live119による映像情報とGPS機能による位置情報の取得により、正確な場所の特定にも高い効果が期待できます。

例えば

- 言葉だけでは伝えることが難しい温室や畑
- サーファーや釣り人から通報の多い砂浜・堤防
- 観光客など土地勘がない方が通報時に困惑する目標物のない道路 など



※映像送信にかかる通話料金は通報者側にかかります。また、通称ガラケーと呼ばれるフィーチャーフォンはシステム対象外です。ご理解とご協力をお願いします。（通話料金は通信会社やご契約のプランにより異なります。）

Live119は「株式会社ドーン」の商標です。

DWIBSドックはじめました

【DWIBS（ドワイブス）とは】

MRI装置を用いた全身がんスクリーニング検査です。正常細胞とがん細胞の細胞密度に着目し、それをMRIで広範囲（頸部から骨盤）に画像化することで、がんリスクを調べます。放射線被ばくがない、注射も不要なため全身への負担が少ないのが特徴です。

短時間で全身のがんを調べることができますが、特に泌尿器系がんの診断に適しています。一方、胃がん、肺がんの診断には比較的不向きとされています。すべてのがんが見つかるとは限らないため、その他の検査（胃バリウム検査、胸部CT検査、腫瘍マーカー等）と併用受診をおすすめしています。

【DWIBSの特徴】

- ・放射線被ばくがない
- ・注射不要（造影剤不使用）
- ・検査時間が短い（30分程度）

【DWIBS検査ができない方】

次の方は受けることができません

- ・心臓ペースメーカー、体内除細動器、人工内耳を装着している方
- ・妊娠中もしくは妊娠の可能性がある方

※左記の方は受けられない場合がありますので、事前にご相談ください

- ・閉所恐怖症の方
- ・体内に金属物質を入れている方

DWIBS検査は全身に何か疾患がないかスクリーニングしたい方におすすめです。（局所的な評価には別途検査を行う必要があります）

当院では、DWIBS検査と血液検査（腫瘍マーカー）を組み合わせた「DWIBSドック」を提供しています。ご興味ありましたら、当院健康管理センターまでお気軽にご相談ください。



読者プレゼント企画



アンケートに答えると抽選で

図書カード20000円分が5名様に当たる

スマートフォンやはがきを使って、広報誌に対するご意見・ご感想をお聞かせください。皆さまのご応募をお待ちしています。

応募方法

スマートフォン・パソコンの場合

左記URL又はQRコードから回答してください。

<https://forms.gle/j8FFhP1Ag7phC1SE9>

アンケートは全7問、所要時間3分ほどです。



はがきの場合

住所、氏名、年齢、電話番号、広報誌に対するご意見・ご感想を記入の上、左記宛先へお送りください。

〒441-1341

田原市神戸町赤石1番地1 渥美病院企画課行

※回答期限は、2026年1月31日（必着）です。

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

編集後記

今回は、あつみの郷の外国人スタッフの紹介をしました。国を超えて日本の介護の現場で働く姿がとてもかっこいいですね。これからも地域の皆さまに安心した日々を送っていただけるよう、スタッフ一同、精進してまいります。次号もぜひご覧ください。

休診日

土、日、祝日／8月15日／12月30日～1月3日